



(1) 豊橋キャンパスの施設整備事業

1946年から脈々と引き継がれる豊橋キャンパスならではの整備事業を実現するため、「緑あふれる木の温もりのあるキャンパス」「アクティブな学び、交流の場を持つキャンパス」「広域に立地する建物間をつなぎ、一体感を持つキャンパス」という3つの具体的コンセプトを掲げ、新棟建設のほか、既存建物の改修などのリニューアルを行っている。

(2) 「CAREER FIELD」「Learning+」「Ai-CONNEX」

CAREER FIELDは、新商品の開発提案から自治体の魅力創出プラン、OB、OGとの交流を通じたキャリアビジョン育成まで、1、2年次から社会と関わり、「生きる・働く・学ぶ」を考えるプログラム。多様なフィールドに学部を問わず参加可能。

Learning+は、さまざまな企業や官公庁と連携し、課題解決に取り組むプログラム。2022年度にはカゴメと連携し、「新たな野菜摂取プランの創出」をテーマに、チームによる調査、分析、企画立案に学生が挑戦している。これまでもJALやJT、アサヒビール、名古屋市などと協働で課題解決に当たった。

Ai-CONNEXは、在学中から卒業生や社会人とつながることを具現化したプラットフォーム。

(3) さくら21プロジェクト

日本についての知識や意見を持ち、それを発信できる力を強化する取り組み。全学に体系的に整備された正課科目（さくら21科目）と正課外活動の相乗効果を活かし、グローバル人材を育成する。各学部で開講する専門教育科目や、共通教養科目の中で、政治・経済・社会・歴史など幅広い分野から日本に関する基本的知識を身に付け、日本の伝統文化、現代文化を深く理解するために役立つ科目をさくら21科目に指定している。

(4) 同窓会「知を愛する奨学金」

公益財団法人愛知大学教育研究支援財団により、同窓会・後援会などからの寄付金の一部を活用し、愛知大学への入学を希望する東海4県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）以外の国内の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校出身者に入学後の経済支援を行い、全国からの勉学意欲の高い学生を応援するもの。年額50万円、4年間の継続で総額200万円を給付する。



名古屋キャンパス

入学から最短5年で司法試験合格が可能となりました。その法科大学院は、手厚い指導と充実した学習環境で文部科学省の高い評価を受け、2024年度の司法試験合格率は55・6%と全国2位に なっています。

多様な分野で活躍する人材育むキャリア支援

愛知大学には16万人の卒業生が多様な分野で活躍しています。日経HRが2025年6月に発表した「企業人事に聞いた卒業生が活躍している大学調査」において、「大学の人材育成力ランキング」で総合ランキング全国1位に輝きました。学生のキャリアサポートにも定評があり、「愛知大学・包括的キャリア形成支援システム（CISA）」を全学で展開しています。

キャリア支援センターでは、「CAREER FIELD」「Learning+」「Ai-CONNEX」の3つをキーワードに就職をめざす学生をサポート。低年次キャリアデザインプログラムは、

多彩な留学制度とボランティア活動

愛知大学は海外協定校ネットワークを世界的に広げ、交換留学や認定留学、1セメスター認定留学プログラム、海外短期語学セミナーなど多様な留学制度を整えて学生の希望にきめ細かく応えています。給付型奨学金制度や、1年間留学しても4年間で卒業できるシステムなど、さまざまな留学支援の仕組みも整えています。日本を理解し、それを発信できる力を養う「さくら21プロジェクト」も実施しています。

建学の精神に則ったボランティア

愛知大学は、2026年の一般選抜で、全試験日に全学部・全学科・全コースへの併願ができるようになりました。また、複数日の受験も可能なため、従来の入試と比べ合格のチャンスが拡大しました。

また、愛知大学は学生の約9割が東海4県出身ですが、全国から多様な人材に来てもらうと、東海4県以外の学生に「同窓会」知を愛する奨学金^⑤を用意して奨学金を給付するなど就学を支援しています。

広瀬学長は、「愛知大学は、『夢よ、集え。』をキャッチフレーズに、座学と実践を結びつける多彩なプログラムを用意しています。基礎学力をベースに実践力を養うことで実社会に役立つ真の力を養おうというものです。まさに社会に向かって大きく羽ばたける人材育成をしているのです。あなたの夢を生かせるプログラムがたくさんあります。ぜひ夢を抱いて本学を目指してもらいたいと思います」と受験生にエールを送ってくれました。

一般選抜でチャンス拡大 あなたの夢を育てよう

愛知大学は、2026年の一般選抜で、全試験日に全学部・全学科・全コースへの併願ができるようになりました。また、複数日の受験も可能なため、従来の入試と比べ合格のチャンスが拡大しました。

また、愛知大学は学生の約9割が東海4県出身ですが、全国から多様な人材に来てもらうと、東海4県以外の学生に「同窓会」知を愛する奨学金^⑤を用意して奨学金を給付するなど就学を支援しています。

広瀬学長は、「愛知大学は、『夢よ、集え。』をキャッチフレーズに、座学と実践を結びつける多彩なプログラムを用意しています。基礎学力をベースに実践力を養うことで実社会に役立つ真の力を養おうというものです。まさに社会に向かって大きく羽ばたける人材育成をしているのです。あなたの夢を生かせるプログラムがたくさんあります。ぜひ夢を抱いて本学を目指してもらいたいと思います」と受験生にエールを送ってくれました。



ひろせ ゆうき
広瀬裕樹学長

1995年名古屋大学法学部卒業。2002年同大学院法学研究科博士課程（後期課程）満期退学。2010年愛知大学法学部教授。11年法学部長、学校法人愛知大学理事・評議員。18年学長補佐。23年より現職。一般社団法人日本私立大学連盟理事、愛知県私立大学協会副会長、一般社団法人大学監査協会理事などを歴任。

わが国の海外高等教育機関として最も古い歴史を持つ東亜同文書院を起源とする愛知大学は、「知を愛し、世界へ。」のスローガンのもと、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」という3つの建学の精神を受け継ぎ、幅広い分野で多彩な人材を輩出してきました。

2026年の創立80周年を機に、さらなる改革を推進しており、キャッチコピーの「夢よ、集え。」には愛知大学で学ぶ学生にあらゆる「夢」を共に実現していこうという意味を込めました。創立の地・豊橋キャンパスでは、キャンパスの中心となる新棟が完成。「未来につなぐサステナブルキャンパス」の実現に向け、着々とリニューアルが進んでいます。ますます多様で複雑化する社会の中で、世界や地域と繋がって活躍する人材の育成に努めています。

愛知大学

〒461-8641 愛知県名古屋市中区筒井二丁目10-31 企画部入試課 TEL 052-937-8112 <https://www.aichi-u.ac.jp/>

創立80周年に向け 豊橋キャンパスの整備を推進

「知を愛する者が相集う」ことから命名された愛知大学は、2026年に創立80周年を迎えます。東亜同文書院大学の最後の学長本間喜一らの尽力により、全国で49番目の旧制大学として愛知県豊橋市に開設されたのが始まりです。

本学は、学生、教職員が声高らかに思い思いの『知』を唱え、それらが創立者である本間喜一先生のタクトの下、共鳴して新しい『知』となり、世の中に響き渡らせてきました。キャンパス全体がいわば『知のフィロハーモニー』だったわけです。80周年を機として、この姿が愛知大学の原点であることを再認識し、発展させていきたいのです」と広瀬裕樹学長は話します。

その80周年に向け、愛知大学は豊橋キャンパスの施設整備事業^①を推進しています。豊橋キャンパスは、1908年に設置された旧陸軍第15師団の跡地に作られたもので、司令部は今も愛知大学記念館（国の登録

有形文化財）として現存しています。このため、「歴史と伝統に向き合い、未来につなぐサステナブルキャンパス。学生が互いに刺激し合え、多様性を共感できる心地よいキャンパス」づくりを目指しています。

今年9月には、「Center Bldg.」と名付けた新棟がオープン。中・大教室、蔵書数100万冊の図書館、情報メディアセンター、Language Center、コミュニケーションラウンジなどを整備したアカデミック棟で、他の建物とは渡り廊下で接続されています。

世界的地域を結んだ 体験的学修と研究を展開

愛知大学は、豊橋キャンパスに文地域政策学部、短期大学部、車道キャンパスに法科大学院、名古屋駅にほど近い名古屋キャンパスに社会科学系3学部（法、経済、経営学部）、国際系2学部（現代中国、国際コミュニケーション学部）を設置しています。理論を学ぶだけでなく、地域や海外に出て調査や体験的学修を行っているのが特徴です。

例えば、法学部では「模擬裁判」という実践的なプログラムを実施しています。「本学の模擬裁判には事前のシナリオはなく、裁判員になる方は一般の方から募集して参加してもらっています。座学の知識として、疑わしきは被告人の利益にということがありますが、実際にどうやってそれを実現するかを、模擬裁判を通

して習得するのです。座学で学んだ知識を実際に使えるように磨き上げています」と広瀬学長。

地域政策学部では「学生地域貢献事業」を実施。商品開発や中山間地域活性化、多世代交流など多岐にわたって取り組んでいます。現代中国学部では2年次の必修として4か月間中国、または台湾、マレーシアで学ぶ現地プログラムを実施しています。

一方、愛知大学ならではの特色ある研究も活発に展開。三遠南信地域連携研究センターでは、地域と地域の境界を「越境」した地域研究を推進しており、地域政策学部・戸田敏行教授の軽トラ市の実践と研究は、優れた成果を上げています。広瀬学長は「能登半島地震で焼失した輪島の朝市を復活すべく軽トラ市を開催するなど、その輪が広がっています」と説明します。また、名古屋キャンパスでは研究拠点「アシタシア」を立ち上げ、日本社会の明日をつくる試みに取り組んでいます。

2021年には法学部に法科大学院連携コースを新設。3年で法学部を卒業し、2年制の愛知大学法科大学院既習者コースへ進学するもので、



愛知大学名古屋校舎 グローバルコンベンションホールでの学長講演